

社内報
つばさ多様な個性が輝きあう
働くことが喜びにつながる会社

-ごあいさつ-

平素より、弊社事業と障がい者雇用へご指導、ご協力とご理解を賜り心より感謝申し上げます。人材育成、雇用定着と少子・高齢化の対応ふまえ、能力向上、新業務開発、障がい者雇用に尽力し事業安定に取り組む所存です。

(少子高齢化：昨年出生数 79.9 万人、78 万人口減；厚労省、同 65 歳以上 29.1%；総務省)

関係各位・関係機関の皆様と一層 連携、協力させて頂くと共に、雇用施策、福祉施策を大切に有効に、人材育成、雇用増進と適職業務の開発・遂行へ生かして参ります。

全社員が一致協力して、新業務の早期具現化、スタートへ尽力して参る所存でございます。

今後とも引き続きご指導ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

シャープ特選工業株式会社

2023 年上期表彰

4 月 13 日の基本方針徹底会で表彰の方々です。受賞、おめでとうございます。

	表彰者	表彰内容
チームワーク賞	大原・清水(節)・森口・野田・岸・小原(大) 田中楓・吉村・種村・若山・瀧口・田中凧 前田・西田	チーム連携による保育所・デイサービス C・ 教育文化体育棟清掃立上げ
敢闘賞	廣田・仲野・澤田	複合機セットアップ業務 業務立上げによる 売上拡大
提案賞	毛利・中川(幸)・中川(隆)・岩本・鎌田 高黒	提案提出「歩溜り改善」
提案賞	種村・瀧口	提案提出「設備改善」
努力賞	松下	資格取得

電子保存の手順改訂業務効率化推進

書類の検索や書類保管スペースの転用のニーズを踏まえ、2009年より書類の電子保存業務（書類の電子化・データ入力代行）を開始し、現在、オフィスソリューション課と八尾サポート課で行っています。

八尾サポート課では、2020年11月から製品品質関係書類電子保存業務を開始し、聴覚・言語・上肢・知的・精神など様々な障がいがあるメンバーが従事しています。



セキュリティーあるシャープ八尾事業所の一室で作業する八尾サポート課 電子保存グループ社員

◆製品品質関係書類電子保存業務の作業フロー◆

「①仕分け工程」⇒「②スキャン工程」⇒「③検査工程」⇒「④保存工程」

【仕分け工程 ワンポイントレッスン作成】

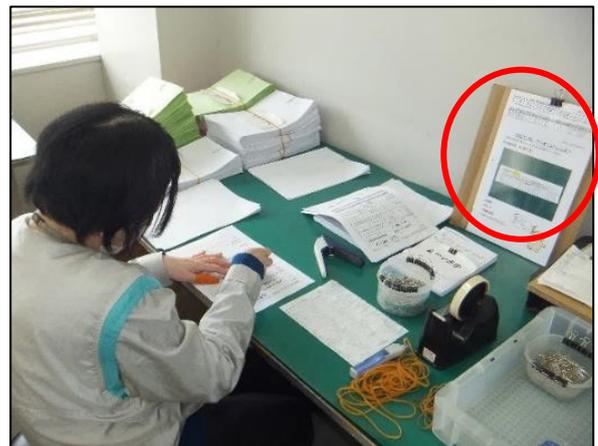
仕分け工程 ワンポイントレッスン

不良モジュール管理シート / 修理履歴表
⇒ スキャンする必要がないので廃棄

書類をスキャンする前工程として、仕分け作業があります。業務効率向上のため、書類の読み取りに不要なテープを全て剥がしたり、不要な用紙を取り除くことが大切です。

作業効率改善のため、手順を見える化したワンポイントレッスンを作成しました。

実際に資料現物の写真を撮り見える化し、仕分け方法を記載してわかりやすく工夫しました。資料に混ざらないようにラミネート加工して、作業の見えるところに置き、迷った時に見て確認しています。業務効率とともにリワーク率の低減ミス防止につながっています。現場作業員からも写真や説明がわかりやすいとの声があり、これからも継続してまいります。



ワンポイントレッスンを確認しながら仕分け作業をしている様子

【業務効率向上】

製品品質関係書類電子保存業務の工程である「仕分け→スキャン→検査→保存」各工程の業務手順書をもとにパネルにまとめ、新聞紙1枚程の大きさに拡大印刷して居室に掲示し、作業工程が常時わかるようにし、かつ70型4Kモニターにより検査スピード向上させました。

①仕分け工程

ひと束の資料を1枚ずつスキャンの妨げとなるホッチキス針やテープなどを取り除く

① ホッチキス針（←）の向きが横になるように用紙の向きを合わせる

② マスキングテープをはがしリケイ紙に貼り付ける

③ 片手で用紙を押さえ、もう片手でリケイ紙の根元（※リケイ針近く）をつかみ、素早く前方にめくりながら外側にひねって取る
※添付用紙も同じ方法で取る

上手にめくり取るポイント

- ホッチキス針が横向きになるように用紙の向きを合わせる
- 用紙をしっかり押さえる
- リケイ紙の根元をつかむ
- 素早く前方にめくりながら外側にひねる

②スキャン工程

機種名ごとに分け束でそろえて、300枚一度にスキャンする「わずか128秒」

スキャン終了後、表示画面の右下の「完了」をクリックして、スキャン完了した資料は、クリップや輪ゴムで留める

③検査工程

シャープ製70型4Kモニター（4T-C70DN1）を使用し、スキャンされた書類にしわや折れなどがなければチェックする

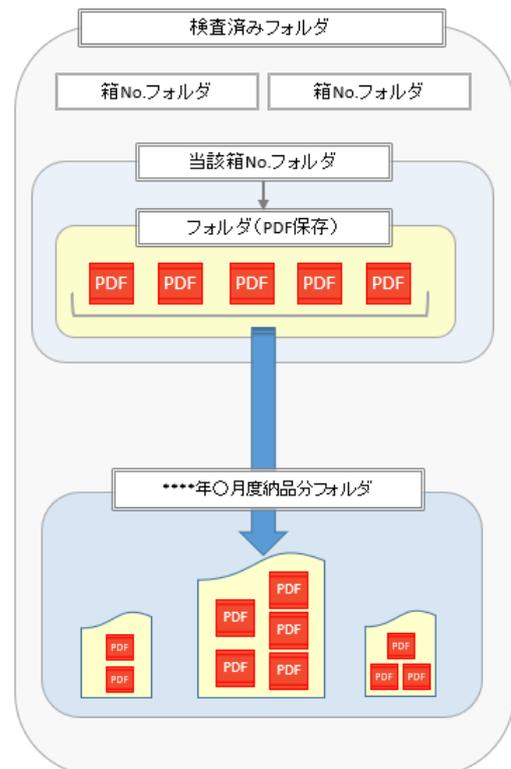
「一度に8枚チェック」



70インチモニターで検査している様子

④保存工程

検査済み箱のフォルダ名の確認、及びPDFファイル数、ページ数を確認し指定箇所に保存する



複合機リペアの部品在庫管理

複合機リペア業務ではリペア作業時にスマートフォンですべての部品に付与されているQRコードを読み込む方式で部品の入出庫や在庫管理を行っています。併せて棚やレイアウトを障がいのある社員が設置し、部品在庫管理の効率化と精度向上を図り、仕事の進展（多能工化）につながりました。



スマートフォンで在庫管理している様子



使用部品をスマートフォンで入力している様子

結果、部品在庫管理業務の対応者が「開始時：2名→現在：6名部員全員」に増え、業務スピードと多能工化を図りました。今後も更なる創意工夫に取り組んでまいります。

シャープ本社 メール室業務の改善

堺サポート課では、シャープ本社のメール室業務を行っています。大きな文字、見やすい表示が、メール業務の効率を上げました。

【改善事例】

改善前は小さなプレートで部門名を掲示していました。文字が小さく分かりづらかったですが、新たに文字を大きくしたプレートを作成しマグネットフックでぶら下げて改善しました。プレートを大きくした分、棚からはみ出た書類を取り出すときにプレートが外れてしまう課題がありましたがマグネットフックに吊り下げることによって書類の出し入れの際にプレートに当たってもプレートが落下せず、かつ部門名変更も取り替えが容易。



改善前



改善後



マグネットフック

メール室に来られるシャープ社員の方々にも「見やすくなった」と声をかけていただいています。これからも社員が働きやすい環境作りの改善に取り組んでまいります。

社会福祉法人 保育所 デイサービス施設の清掃

2022年12月から、地元地域の社会福祉法人の保育所（園児約170名、職員約50名）やデイサービス施設（ご利用者約25名、職員約20名）でのトイレなどの共有部分の清掃作業及び消毒作業の仕事を開始しました。

雇用定着、質向上を踏まえ、聴覚障がい社員とリーダーが清掃業務を担っています。

シャープグループ以外での清掃にチャレンジし、事前現場調査と用具準備を行い、積み重ねたていねいな仕事を心がけて業務に邁進しました。同法人の皆様から、トイレや廊下がとてもきれいで、引き続き『シャープ特選へ清掃依頼』というお言葉をいただきました。

今後も同法人の皆様との連携とご要望の声を作業効率改善へ生かし、取り組んでまいります。

【作業風景】



玄関掃除



スロープ清掃



フィルムデータ保存業務

オフィスソリューション課では、2023年3月よりフィルムデータ保存業務を開始しました。

業務内容は、シャープに保管している古い商品写真のフィルムをスキャンしてJPEGデータ※にする作業です。



除電ブローアでほこり除去

フィルムに指紋が付着する恐れがあるため、作業手袋をはめての作業をしています。

除電ブローアで、大敵であるほこりを取り除いています。



フィルムホルダに付着しているほこりを取り除いている様子

メンバーに苦労したことなどをインタビューしました。

最初は、フィルムに付いているほこりを一生懸命に取り除いてもほこりが付いてしまう繰り返していたことが大変でした。昔やっていた小型液晶バックライト組立作業のことを思い出しながら工夫して、やっとほこりを取り除くコツをつかむようになりました。

※JPEGデータとは？

静止画像のデータ圧縮形式の一つ。フルカラーの画像を多少の劣化を伴いながら高い圧縮率で符号化できるのが特徴で、写真など自然画像の記録に向いている。ファイル名の標準の拡張子は「.jpg」あるいは「.jpeg」。

「機械保全技能士・電気機器組立て技能士」の両資格取得！

生産部第2生産課の中雅喜さんが、レーザーチップの生産に使用する機械の修理ならびに機械のユーティリティ（真空ポンプ・エアークンプレッサー・電気設備）の保全管理に役立つ「機械保全技能士2級※1」と「電気機器組立て技能検定3級（シーケンス制御作業）※2」の資格を取得しました。（2022年3月合格）

【生産部第2生産課 中雅喜さんへのインタビュー】

□機械保全技能士2級及び電気機器組立て技能検定3級

（シーケンス制御作業）の取得のきっかけはなんですか？

自身のスキルアップ、技術力の向上です。業務上、装置などの不具合を修理することが多いことから電気・機械に関する専門知識が必要となることが多いです。メンテナンス業務を任された当初は、自身の知識やスキルが乏しかったこともあり業務がスムーズに遂行できない場面も多分にあったので、機械・電気に関わるさらなる専門知識習得を目標にしました。



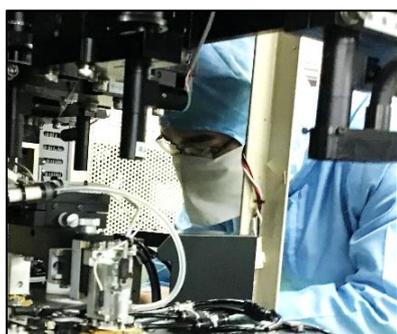
合格証書を持つ中さん

□資格を取得するにあたり、大変だったことはありませんでしたか？

勉強時間を確保することが大変でした。業務上、仕事内容が多岐にわたることから多忙になる時もあり、必要な時間を確保できない場合も多くありました。毎日夕食後、約2時間勉強時間にあてており、休日中、特に予定がなければ、約6時間を受験勉強にあてるよう努めてきました。

□資格を取得して、業務にどのように役立っているのでしょうか？

資格の取得内容が機械、電気に関わる場所であるため、自身の業務の装置、設備の修理に関わる分野（定期メンテナンス・装置配線不具合や部品の劣化時の交換）にも多分に当てはまることから、業務の遂行をスムーズに処理する際の助けとして役立っております。レーザーチップの品質テスター機器のメーカー担当者やSFL社様との生産機械の不具合症状の情報共有を通して改善・解消をはかり、自身の業務効率化につながっております。



メンテナンスしている中さん

□中さんの働きぶりを上司に伺ってみました。

何事にも真面目でやり出すとすごく集中力が高く、びっくりするくらい吸収が速いです。また質問も的確で、次に説明しようとしていたことを質問されたときがあり、驚かされました。ただ、集中力が凄く高いのは良いことなのですが凝り性でやり過ぎてしまうところがあるので、ちょっとブレーキをかけることもあります。いつでもよい状態で仕事に向き合ってもらえるようにフォローしてあげたいです。

※1 機械保全技能士

工場に設置してある機械の修理や定期メンテナンス、保全に関する業務を行う資格です。設備診断・機械保全のプロフェッショナルであり、機械保全技能士は製造現場において重要な役割を担います。

※2 電気機器組立て技能士（シーケンス制御）

工場等で使用される産業機械を決められた順番（シーケンス）で作動するよう制御プログラミングする能力を評価する資格です。試験では実技試験があり、検定盤を使用して指示内容に従い正しく動作するようプログラミングができていないか評価されます。

社会福祉国家試験を見事に合格！

管理部 総務課の北山すぎのさんが、社会福祉士※の資格を取得しました。(2022年3月合格)

北山さんは、主にキャリア教育支援活動の業務に従事しています。具体的には、職場見学の案内や実習生の受入れです。その他、電話対応や館内の消毒などを通じて従業員への声かけをしたり社員の面談に同席するなど定着に向けた取り組みにも携わっています。



合格証書を持つ北山さん

【管理部総務課 北山さんへのインタビュー】

◎社会福祉士の資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。

大学時代、福祉について学び、必要な単位を取得したり実習へ行ったりして、社会福祉士の受験資格を取得しました。その後、シャープ特選との出会いから「今までの学びを活かせる」という嬉しさを感じたこと、また、すでに資格をもっている方が活躍されている姿に憧れを抱いたことがきっかけとなり、「せっかく受験資格があるなら」と資格取得を目指しました。

◎資格を取得するにあたり苦労したこと、また、弊社にも資格取得を目指す社員がたくさんおられますが、ご自身の体験の中で何かアドバイスできることがあれば教えてください。

私からアドバイスできることは少ないですが、今回の資格取得で気づいたことは、「こんなにもモチベーションって大事なのか」ということです。モチベーションだけでどうにかなるものでもないかとは思いますが、やはりやる気に比例して勉強量も増えるものだと思います。なぜ資格を取りたいのか、自分なりに目的があるとモチベーションを維持できるのではないのでしょうか。また、「資格を取得する」と周りに宣言しておく、いい意味でプレッシャーになります。

◎社会福祉士として将来、弊社において、どう業務につなげていきたいと考えていますか。

資格は取得したものの、経験がなく、「しっかり活かせるのかな？」という不安もあります。しかし、社員や見学者さん、実習生さんなど、人と人の関わりの中での業務ですので、知識だけでなく経験を結び付けていくことで、より強固なものになるのではないかと考えます。資格を取得したから何かができるようになるわけではないので、さらに知識を深めながらも、経験を価値あるものにしていきたいです。また、社会福祉という広く人々の生活に密着したものですので、業務だけでなく多くの場面で活かせるのではないかと思います。これから経験を積んでいく中で、何かにつまずいたり迷ったりしたときに、資格取得で得た知識が道しるべになってくれると信じています。

◎北山さんの働きぶりを上司に伺ってみました。

入社してまだ1年半程ですが、キャリア教育支援活動の業務において任せられた自分の責務を果たせるように取り組まれており、成長度は目を見張るものがあります。また資格取得や自己啓発、新たな知見を得るための社外での研修・実習参加などについても積極的で、逆に見習わないといけないと思ったりもします。今後の成長にも大いに期待しています。

※社会福祉士とは？

「社会福祉士」は、何かしらの理由で手助けを必要とする人たちの相談に応じ、専門知識を活かしてさまざまなサポートを行う仕事です。社内では、社員が働き続けるために支援機関や医療機関と当社を繋ぐ役割を担っており、時には社員と部門を繋ぐ役割を担うこともあります。また、社会貢献活動である職場見学や実習をご利用くださる方々が就労に繋がるよう、面談、支援を行うなどする際に、その専門的知識を活かしています。

出前授業を実施しました

2023年2月8日、大阪府にある八尾市立成法中学校にて、出前授業を実施しました。

弊社は、シャープ株式会社創業者 早川徳次 の障がい者福祉に対する想いを継承し、2012年度より支援学校を対象とした出前授業に取り組んできました。今回は初めての試みとして、一般校にて通常学級及び支援学級の生徒さんを対象とした出前授業を実施することができました。

授業実施の背景には、「学校内あるいは将来の職場において、障がいの有無に関わらず誰にも人権があること、そこに気づくことができる力、環境を変えていける力を生徒の皆に持ってほしい。」という先生方の強い想いがありました。

この先生方の想いは、弊社が早川創業者から受け継いだ「障がい者自らが、自助自立をして働ける職場環境を作る」という考え方につながることから、今回新たな活動を展開することができました。



授業の様子

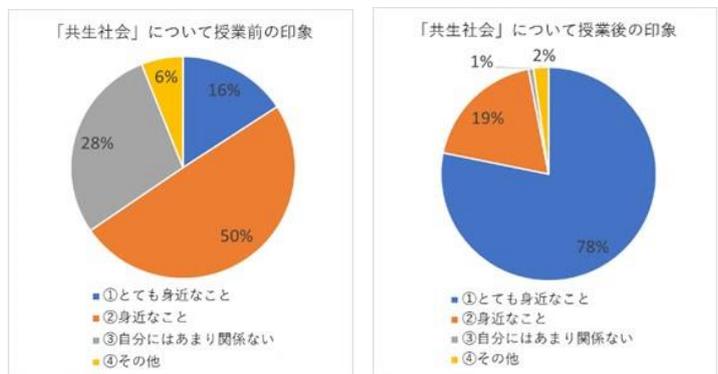
「誰もが生きやすい『共生社会』について考える」というテーマのもと、グループワークを含めた50分間の授業となりました。生徒さんや先生方を含むあらゆる人にとって学びやすい、生活しやすい、働きやすい環境づくりを自分事として捉え、気づきを得ることを目的とした授業内容です。グループワークでは、「共生社会を実現するための取り組み」について各班で話し合い、「人の意見を尊重する」「違いを認める」「正しい知識を身に付ける」など、多くのアイデアが行き交いました。また、事後学習では、「共生社会を実現するための取り組み（成法中学校バージョン）」について各自で考えました。

- 「今回の授業で学んだ内容を他者にも話して広める」
- 「ひとりひとりが『共生社会』について考えて意識する」
- 「偏見や先入観をなくして人と接する」
- 「助け合いができる学校にする」など、



共生社会を自分事として捉え、「今できること」を具体的に考えられていました。

そして、授業実施後、生徒さんを対象にアンケートを実施しました。その結果、授業前に「とても身近なこと」と答えた生徒さんは16%でしたが、授業後は78%となりました。さらに、「とても身近なこと」「身近なこと」を合わせると97%となりました。その他、生徒さんからは「共生社会について、子どもの内から学ぶ機会を得ることが必要」「価値観が固まる前の子どもの内に学んでおくべき」という意見を多くいただきました。



授業実施後のアンケート結果

「共生社会」と言葉だけを聞くと大きく感じて構えてしまいがちですが、ひとりひとりが知ること、意識を持つことが大きな力となるのだということを、今回の授業を通して実感することができました。共生社会を築く一助となるよう、今後も地域と連携し社会に貢献できる活動を継続してまいります。